

令和5年6月19日

桑折町議会
議長 片平 秀雄 様

産業厚生常任委員会
委員長 佐藤 榮三

委員会調査報告書

本委員会に付託された調査事件について、調査報告を下記のとおり、会議規則第77条の規定により報告します。

記

1 調査事件

ネウボラ（子育て世代包括支援）について

2 調査目的

妊娠期から就学前にかけての子育てを切れ目なく支援するため

3 調査の経過

□令和4年10月25日

調査の進め方について協議を行い、視察調査を行うこととした。本町より合計特殊出生率が高い山形県高島町及び朝日町を候補地とした。

□令和4年11月10日

健康福祉課長の出席を求め、本町の取組状況について説明を受け、質疑応答を行った。

□令和4年12月1日、12月12日

行政視察調査の質問事項について協議を行った。

□令和5年1月18日

山形県高島町で行政視察調査を行い、高島町でのネウボラの取組について説明を受け、質疑応答を行った。

□令和5年1月19日

山形県朝日町で行政視察調査を行い、朝日町でのネウボラの取組について説明を受け、質疑応答を行った。

□令和5年2月9日

行政視察調査を踏まえ、今後の調査の進め方について、協議を行った。

□令和5年4月6日

行政視察調査を踏まえ、本町のネウボラの取組との違いを確認し、報告書の内容について、協議を行った。

□令和5年6月13日

報告書の内容について協議し、最終確認を行った。

4 調査結果

本委員会は、昨年9月定例会以降、妊娠期から就学前にかけての子育てを切れ目なく支援するため、子育て世代包括支援について調査を行ってきた。この間、担当課である健康福祉課より本町の取組状況について説明を受けるとともに、「15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの」と定義される合計特殊出生率を一つの指標と捉え、平成25年から29年までの人口動態、保健所・市町村別統計において、本町（1.38）より合計特殊出生率の高い山形県高島町（1.52）及び山形県朝日町（1.49）の取組について視察調査を行った。

高島町の取組の特長として、妊婦の全数に支援プランを策定し、細やかな支援を実施し、参加者・相談数が増加したことが高く評価されている。また朝日町の取組の特長として、妊婦の全数をケースカンファレンスで共有し、ハイリスク妊産婦に対する助産師との同行訪問等の支援体制強化が高く評価されている。

本町における取組も、両町と同等の取組が行われ成果を上げているものと評価する。今後においても、先進事例等を参考にするとともに子育てしている親同士、妊婦同士が情報交換できる機会等を設けていけるよう関係機関との一層の連携と令和4年4月より不妊治療について、保険適用されたことから、望む人誰もが、子どもを産み育てやすい社会の実現に向けた積極的な取組を望む。